

加古川平成ロータリークラブ

会 長 鈴木 勝博
 幹 事 山本 裕一
 広報小委員長 高田 誠
 2680地区ガバナー 矢坂 美徳

例会日/毎水曜日 12:30~13:30・例会場/加古川商工会議所会館 4F
 事務局/加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館 5F
 Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100
 ホームページ <http://www.k-heisei-rc.com/> / Eメール heiseirc@basil.ocn.ne.jp



2024~2025 年度 RI 会長 ステファニー A.アーチャ

No.1592 April 18、2025

例会プログラム

第 25 回(4 月 18 日)

「次年度小委員会」

次年度会長・幹事

例会当番 山本

次週例会プログラム

(5 月 9 日)

卓 話

「未定」

地区青少年奉仕委員会
 青少年交換小委員会委員
 贅田 肇氏

次週例会当番 網本

前週例会報告

◇ ゲスト

◇ ビジター

◇ 出席率 前 週 会員数 14 名 出席数 5 名 出席免除 2 名 欠席数 7 名
 ◇ 前々週 会員数 14 名 出席数 9 名 出席免除 1 名 欠席数 4 名

◇ 欠席者 7 名 井上 榊 柴田 高田 原田 松野 宮宅

◇ メークアップ 2025 年 4 月 2 日 横浜西ロータリークラブ 井上 榊
 2025 年 4 月 3 日 東京調布むらさきロータリークラブ 井上 榊



★ 誕生日祝

★ 林会員、鳥井会員に委嘱状

★ 卓話 地区規定審議委員長

本日の幹事報告

- ※ 例会欠席の時は必ず事前に事務局へ連絡！
- ※ 本日の食事；100万ドル

① 各RC例会変更のお知らせ

高砂RC 5月2日(金)→休会【定款第7条第1節(d)】

5月9日(金)→休会【定款第7条第1節(d)】

加古川RC 6月17日(火)→6月19日(木)午後6時～最終例会

於；加古川ゴルフ倶楽部レストラン

6月24日(火)→例会取りやめ〔定款第7条第1節(d)〕

② 回覧します

・(公財)PHD協会よりPHD LETTER Vol.158

・次年度ロースター作成資料※変更なしの方は○印を、ある方は変更事項を記入お願いします。

・観桜例会会計報告

③ Boxにハイライトよねやま vol.301、本日の資料を入れております。

④ 矢坂ガバナー、城ガバナーエレクトより井上会員に青少年奉仕委員会青少年交換小委員会委員の委嘱状が届いております。

4月理事・役員会報告

I 協議事項

1) 5月プログラムの件

榊会員欠席のため、山本幹事代理報告

5月2日(金)： 例会取消〔定款第7条第1節(d)〕

5月9日(金)： 卓話「未定」後日確認

5月16日(金)： 卓話「未定」後日確認

5月23日(金)： 例会取消〔定款第7条第1節(d)〕

5月30日(金)： 例会取消〔定款第7条第1節(d)〕

5月9日16日の卓話は後日確認で承認

2) 「令和7年大船渡市大規模森林火災」災害支援ご協力をお願いの件

1人1,000円+ニコニコ＝ 合計2万円→承認

3) 最終例会の件

鈴木会長、原田次年度会長、鳥井会員で会場決定

4) ロースター印刷の件

3クラブに配布するため例年通り数量200で承認

5) その他

・JICAヨルダン事務所所属 山本久留美氏からのご相談の件

補助金セミナー不参加のため補助金使用できないためアナウンスのみ

・次年度理事役員について

監査の業務は業務監査がなく会計監査のみなので役員は外す

・4/29地区研修・協議会&懇親会出欠確認について

II 報告事項

① 4月度ロータリーレート

1\$ = 150円 (現行150円)

② 3月度累計欠席連絡状況

電話：0

メール：5

fax：0

出欠表：9

なし：0

SONG TODAY

我等の生業

作詞；高野辰之 作曲；岡野貞一

我等の生業^{なりわい}さまざまなれど

集^{つど}いて図る心は一つ

求むるところは^{やわらぎむつび}平和親睦

力むるところは向上奉仕

お、ロータリアン

我等の集い



クラブ会報・雑誌
記録小委員会

氷は語る

ドキュメンタリー写真家であるロータリアンが、温暖化する世界における美しさとはかなさを捉える

写真・文：クリスチャン・クローワース

フランクリン島、南極、2017年



フランクリン島は、生と死が混在する場所です。南極大陸のロス海に位置するこの寂しい岩場は、アデリーペンギンの繁殖地です。周囲や足元には、過酷な環境で命を落としたペンギンたちの羽毛の塊が散らばっています。そこには、生命の美しさとはかなさという、生命のサイクルがすべて存在しています。

この知られざる世界の極地で写真を撮ること、つまり、自然界の微妙なバランスや、科学的研究と行動の緊急性を人びとに伝えることが、私の使命です。

私の好奇心と関心、あるいは執着心と呼ぶなら、それは2013年に北極圏内にあるノルウェー北部を訪れた際に芽生えました。そこで私は、岩だらけの丘陵地から突き出た、金属製のドアのある謎のコンクリート板を見つけました。そのドアは、世界中の130万以上の種子サンプルを保管するスヴァールバル世界種子貯蔵庫へと続いていました。気候変動や生物多様性の喪失に直面する人類にとって、これは最後の砦であり、警鐘を鳴らすものでもあります。

私は、ストーリーテリングや国連気候変動会議、ロータリークラブなどへの出席を通じて、何が危機に瀕しているのかを伝えるとともに、人びとを自然やその美しさ、特に未知なる大地の魔法と再び結びつけたいと考えています。

ベリングスハウゼン海、南極、2017年



冰山は気候変動の兆候を示すことがあります。私が目にした冰山は90度回転しており、昼間の表面温度によって氷に刻み込まれた深い青色の線が現れていました。まるでインフォグラフィックのように、傷だらけの氷に、長い年月にわたる温暖な時期の記録が示されています。

ロングイェールビーン、ノルウェー、2013年

かつての鉱山の町ロングイェールビーンは、スヴァールバル諸島（ノルウェー）にあるスピッツベルゲン島最大の集落です。この写真には、この地域の産業遺産である古い炭鉱の一つが写っています。この炭鉱は現在は稼働していませんが、この北極の風景で存在感を示しています。



ダンコ島、南極、2017年



ザトウクジラの脊椎骨のそばを通り過ぎるジェンツーペンギン。プランクトンやオキアミなど栄養豊富な南極海には、エサを求めて多くの種のクジラがやって来ます。

スヴァールバル諸島、ノルウェー、2014年

ほぼホワイトアウトであるこの写真は私のお気に入りです。完全なホワイトアウトになると、距離も地平線も分からなくなります。この写真は冬に撮影しました。夕暮れ時に意図的に露出オーバーにしたので、グラフィックアートのようになっています。シャッター速度が遅いため、雪が降っているのは見えません。



スヴァールバル諸島、ノルウェー、2013年



雲の上に曲がった筋のようなものが見えます。これは氷河が岩を削った跡ですが、その氷河はもはや存在しません。手前では氷が溶け、プラスチックやその他の人工物が散らばっています。これが現在の北極の姿です。世界のどの地域よりも4~6倍の速さで温暖化が進んでいます。

ロス海、南極、2017年

氷からジャンプする2羽のアデリーペンギン。氷の上では、滑ったり、滑り落ちたりと、かなり不器用です。しかし水中では、まるで槍、あるいはバレリーナのように。本当に速く、泳ぎも上手です。シャチやほかの捕食者から逃げるために必要とされる能力です。



クリスチャン・クローワース氏は、ベルギーの Antwerpen-Oost ロータリークラブ会員です。クローワース氏の作品をもっとご覧になりたい方、著書について関心のある方、または講演を依頼したい方は、clauwers.com をご覧ください。

本稿は『Rotary』誌2025年4月号に掲載された記事を翻訳したものです